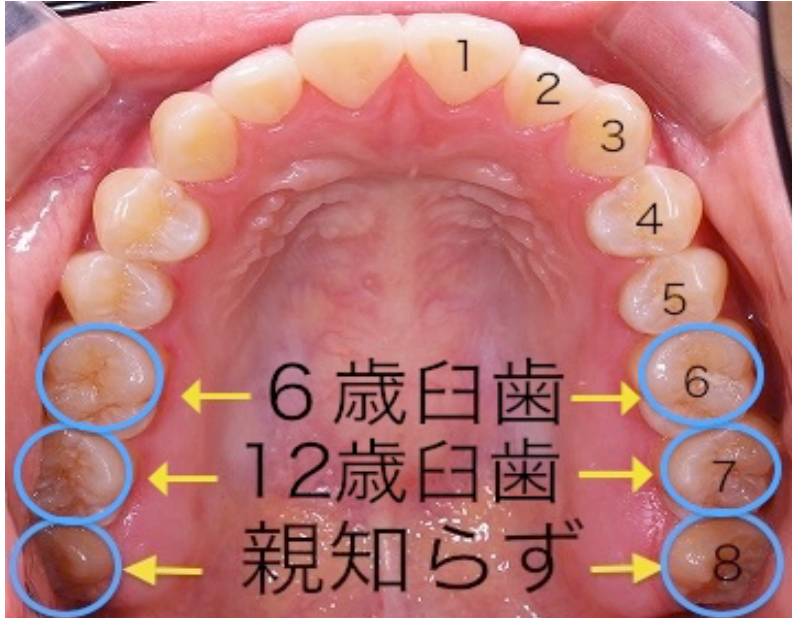


今月のさがあお豆知識 No.36

歯は、大切にケアすれば一生使い続けることができます。
ですが、一般的に人間の寿命より早く失う場合が多いです。
今回は特に失いやすい大きな奥歯についての豆知識です。

<大臼歯について>



永久歯の中で6・7・8番目に生えている歯を『**大臼歯(だいきゅうし)**』と言います。
6番目の6歳臼歯は名前の通り6歳前後に生えます。
大人の皆さん、6歳から**ずっと使っている「物」**はお持ちでしょうか？
この6歳臼歯も、一生使おうと思うと大切にしないといけないと言う事がよく分かりますね。



★大臼歯は食べ物をしっかりとすり潰す役割をしています。
奥歯を失うと噛み合わせが狂い、歯並びや顔の輪郭形成にも影響が出ます。

～大臼歯を失いやすい理由～

歯に凸凹の溝がたくさんあることや、奥にあり歯ブラシが届きにくく虫歯や歯周病になりやすいため寿命が短くなりやすいです。

6番目の生えたとて →小学1年生前後に生えるため
(6歳臼歯) 子供だけではケアできない…。

7番目の生えたとて →中学1年生前後に生えるため、部活動や習い事などで
(12歳臼歯) 忙しく歯磨きをあまりしなかったり、
歯科医院での検診がおろそかに…。

8番目の歯 →あるのか、ないのか、自分自身の親知らずについて
(親知らず) 知りましょう！生え方によっては周りの歯を
虫歯や歯周病になりやすくなる事も…

「8020運動」80歳で歯を20本残そう！という運動は、
今や50%の方が達成されています。

これからは**8020以上を目指して！**その為に「大臼歯」を守っていきましょう！

